

（源泉）控除対象配偶者等の記入のポイント

**記載する箇所が複数ありますので記載漏れにご注意ください。
配偶者控除と配偶者特別控除の違いをよくご確認ください。**

[illegible]

(源泉)控除対象配偶者の有無等		老人
有	従有	C
A	B	

①「（源泉）控除対象配偶者の有無等」欄

A【有】欄

主たる給与等において、年末調整を行っている場合で、控除対象配偶者を有しているときは「○」をしてください。
年末調整を行っていない場合は、源泉控除対象配偶者を有しているときに「○」をしてください。

B【從有】欄

従たる給与等において、源泉控除対象配偶者を有している場合には「○」をしてください。

C【老人】欄

控除対象配偶者（年末調整を行っていない場合は源泉控除対象配偶者）が老人控除対象配偶者である場合に「○」をしてください。（【有】欄にも○が必要です）

配偶者(特別)	
控除の額	
千	円

②「配偶者（特別）控除の額」欄 年末調整をした人のみ

「給与所得者の配偶者控除等申告書」に基づいて控除した配偶者控除の額又は配偶者特別控除の額を記載してください。

(注) 受給者本人の合計所得金額が1,000万円を超える場合は、配偶者控除及び配偶者特別控除の適用を受けることができません。
また、配偶者の合計所得金額が48万円以下の場合又は133万円を超える場合は、配偶者特別控除の適用を受けることはできません。

③ (特別) 控除対象 配偶者	(フリガナ)					区分	D	④ 配偶者の 合計所得	E
	氏名								
	個人番号								

③「(源泉・特別)控除対象配偶者」欄

控除対象配偶者又は配偶者特別控除の対象となる配偶者（年末調整を行っていない場合は、源泉控除対象配偶者）の氏名及びマイナンバーを記載してください。

なお、非居住者である場合には、Dの区分の欄に「○」をしてください。

④「配偶者の合計所得」欄

配偶者控除又は配偶者特別控除の適用を受けた場合は、E欄に配偶者の合計所得金額を記載してください。